

The 57th Annual General Assembly and Scientific Meeting of
the Japan College of Rheumatology

JCR 2013

第57回日本リウマチ学会総会・学術集会

April 18 - 20 2013
京都国際会館



2013年04月24日更新

スマートフォンを用いた自己測定非侵襲データによる関節リウマチ疾患活動性予測アルゴリズムの作成

西口 周氏 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻



関節リウマチ (RA) は進行性の慢性炎症性疾患であり、症状が日々変化するため、日々の疾患活動性を経時的に捉えることができれば有用である。しかし、RAの疾患活動性を日常的、非侵襲的、かつ客観的に評価する方法は十分に確立されていない。そこで西口氏らは、現在急速に普及しているスマートフォンの機能を利用し、患者が自ら非侵襲的に自身の疾患活動性 (DAS28-CRP) を予測できるアルゴリズムを作成した。このアルゴリズムによるDAS28-CRP予測モデルと実際のDAS28-CRPはよく相関することから、スマートフォン上で取得した非侵襲的データにより、日常的に自身の疾患活動性を予測できる可能性が示唆された。

